

岩肌仕上げ

施工の手引き

適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

平成21年11月【初版】

平成23年11月【改訂】

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	16kg 角缶	約 80~106 m ² /缶
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg 角缶</u>	<u>約 75~100 m²/缶</u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg 角缶</u>	<u>約 80~106 m²/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> <u>(ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ)</u> <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> <u>(□…数字)</u> <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> <u>(△…英字、○…数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上り塗材	20kg ペール缶	約 7 m ² /缶
骨材	JF-1	寒水石(白竜)1 厘	20kg 袋入り	約 25 m ²
	JF-3	寒水石(白竜)3 厘	20kg 袋入り	約 25 m ²
	JF-5	寒水石(白竜)5 厘	20kg 袋入り	約 126 m ²
	JF-7	寒水石(白竜)7 厘	20kg 袋入り	約 63 m ²

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m²/セット)

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ (角ゴテ)
- ・スチロールゴテ (スタイロフォームのような発泡スチロールでも可)
- ・仕上げゴテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)

<下地調整>

下地は、モルタルの金ゴテ押さえ (平滑) として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

<岩肌仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1" JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・JQ(W)-650シリ-ズを無希釈で0.9kg/m²となるようステンレスゴテにて平滑に塗布する。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 中塗り

配 合	<u>JQ(W)-650シリ-ズ</u>	20kg
	寒水石 7厘	8kg
	寒水石 5厘	8kg
	清 水	1ℓ
塗布量	約3.5kg/m ²	
施工方法	ステンレスゴテで平滑に材料を配る。	

4. パターン付け

追いかけ (5分以内)

- ・ スチロールゴテを円状に動かし、骨材がランダムに転がった跡をつける。(図-1)
- ・ スチロールゴテに付着したジョリパットは、濡れウエスやブラシなどで洗い、常にきれいに保つ。

夏期 24時間以上

冬期 48時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

5. 主材 上塗り

配 合	<u>JQ(W)-650シリーズ</u>	20kg
	寒水石 3厘	6kg
	寒水石 1厘	12kg
	清 水	2ℓ

塗 布 量 約 1.0kg/m²

施工方法 ステンレスゴテにて平滑に材料を配る。

6. 仕上げ

追いかけ (5分以内)

- ・ 角ゴテのエッジ部分に力をいれ (エッジをたてる)、材料を削り取るようにパターンをつけ、コテ波を残す。
(図-2)

<施工のポイント>

- ・ スチロールゴテを円状にランダムに動かし、寒水石7厘がランダムに転がるようにパターン付けを行う。(図-1)
- ・ 骨材が転がりにくい場合は、スチロールゴテをきれいに洗浄してから、パターン付けを行う。

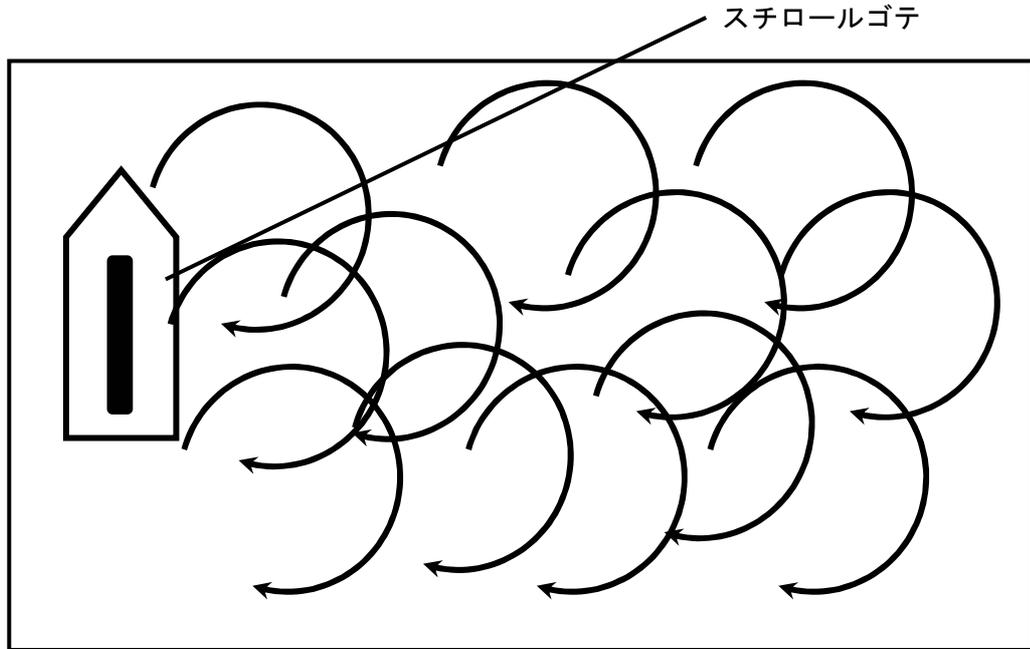


図 - 1

- ・ 角ゴテのエッジをきかせ、材料を削り取るようにコテを上下に動かし、横方向のコテ波が残るようにパターンをつける。(図-2)

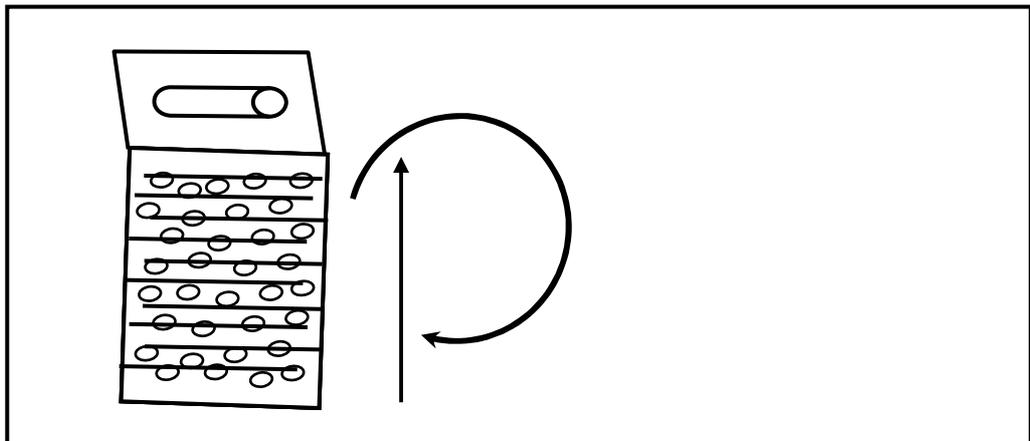


図 - 2

<施工の注意事項>

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ シーラー、ジョリパットの施工の際は臭気等のトラブルを防ぐため事前に近隣への案内等に配慮ください。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は、特に防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護メガネ、保護手袋を着用してください。
- ・ コテ、ローラー、吹きつけ等の洗浄水を河川、側溝への施法は避けてください。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノンフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上